

**「さぬき市男女共同参画プラン」策定に向けての
中学生アンケート調査
－ 報告書 －**

**平成24年10月
香川県 さぬき市**

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1. 性別構成	3
2. 家族構成	3
III 調査結果	4
【1】男女平等について	4
1. まわりの人から言われることについて	4
2. 男女間の行動等の違いについて	7
3. 男女のあつかいについて	10
4. 日常生活における男女平等意識について	13
【2】DVについて	17
1. デートDVの認知状況	17
2. デートDVについて	18
【3】男女平等社会をつくる上で必要と思うこと	19
1. 自由記述回答集約結果	19

I 調査の概要

【調査の目的】

「さぬき市男女共同参画プラン」の改定にあたり、中学生における学校生活での男女共同参画に関する意識や実態、意見等を調査し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的に実施した。

【調査対象】

市内の中学校に通う2年生の生徒全員

【調査方法】

各学校を通して配布、回収

【調査時期】

平成24年（2012年）5月～7月

【回収結果】

発送数 -----459 件

有効回収数 -----446 件

有効回収率 -----97.2%

注：有効回収数とは、回収票のうち無効票（無記入票）を除外した「集計対象数」を示す。

◆学校別回収状況(上段：件数、下段：構成比%)◆

標本数	津田中学校	天王中学校	長尾中学校	志度中学校	志度東中学校	大川第一中学校	無回答
446	51	56	95	124	64	52	4
100.0	11.4	12.6	21.3	27.8	14.3	11.7	0.9

※設問F2回答結果より

【聴取項目（大項目）】

- ◇回答者属性
- ◇男女平等について
- ◇DVについて

【報告書の見方について】

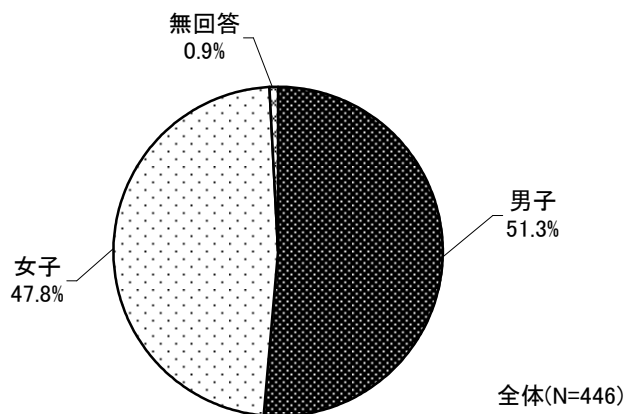
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数^{*}を「n」で表記している。
- (4) 図表中における性別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、性別でクロス集計する場合における性別の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 設問によっては、平成15年度及び20年度に実施された、同調査との比較を行っている(時系列推移)。その際、図表等の表記は平成15年度調査を「前々回(H15)」、平成20年度調査を「前回(H20)」と略記している。
- (7) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

※(例)問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における各属性(「女子」)など、限定された回答者数

II 回答者の属性

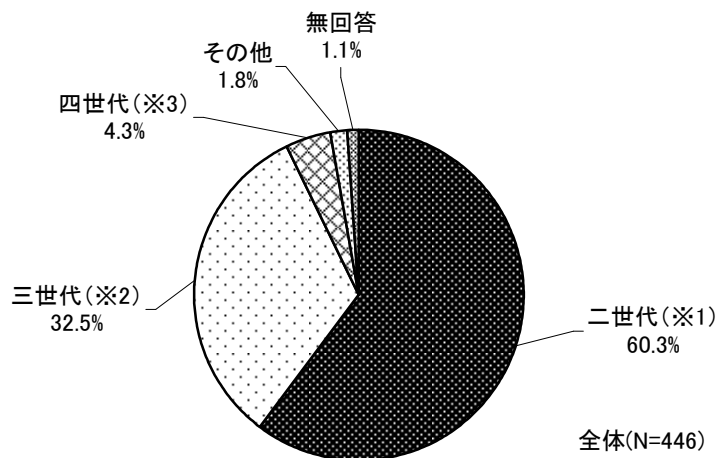
1. 性別構成

回答者の性別構成は、「男子」が51.3%、「女子」が47.8%と、やや「男子」の割合が高いが、おおむね二分している。



2. 家族構成

家族構成については、「二世代（親とあなたや兄弟姉妹）」が60.3%と最も高く、「三世代（祖父母と親とあなたや兄弟姉妹）」が32.5%と続いている。



※1 親とあなたや兄弟姉妹

※2 祖父母と親とあなたや兄弟姉妹

※3 曾祖父母と祖父母と親とあなたや兄弟姉妹

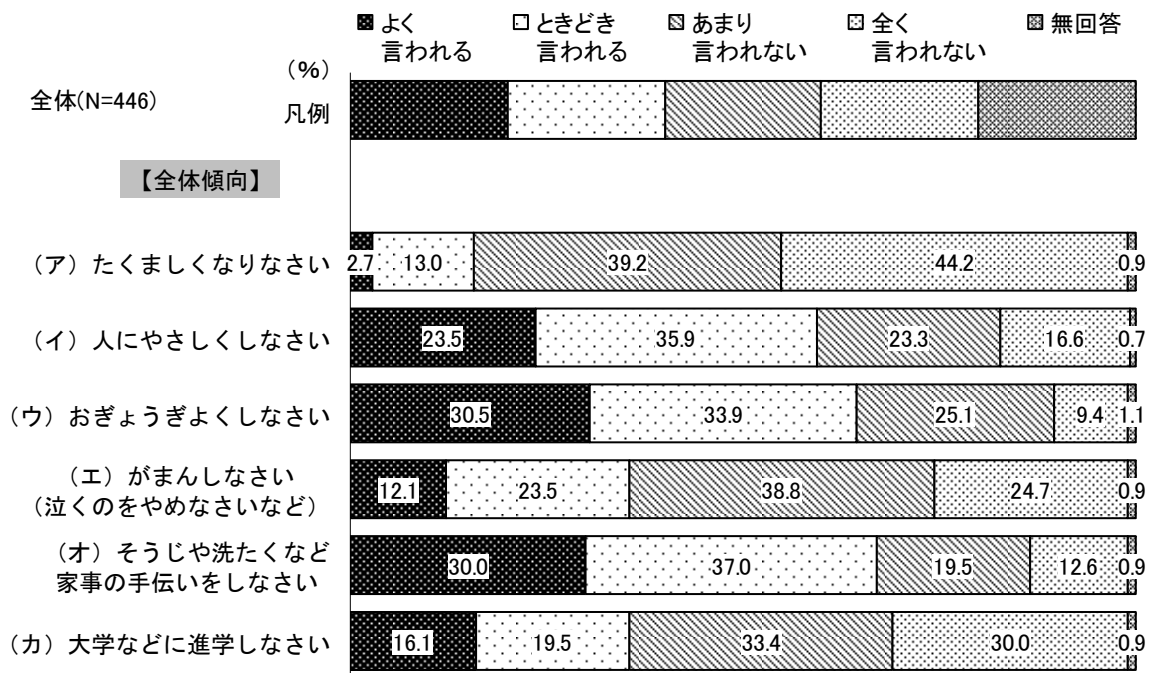
Ⅲ 調査結果

【1】男女平等について

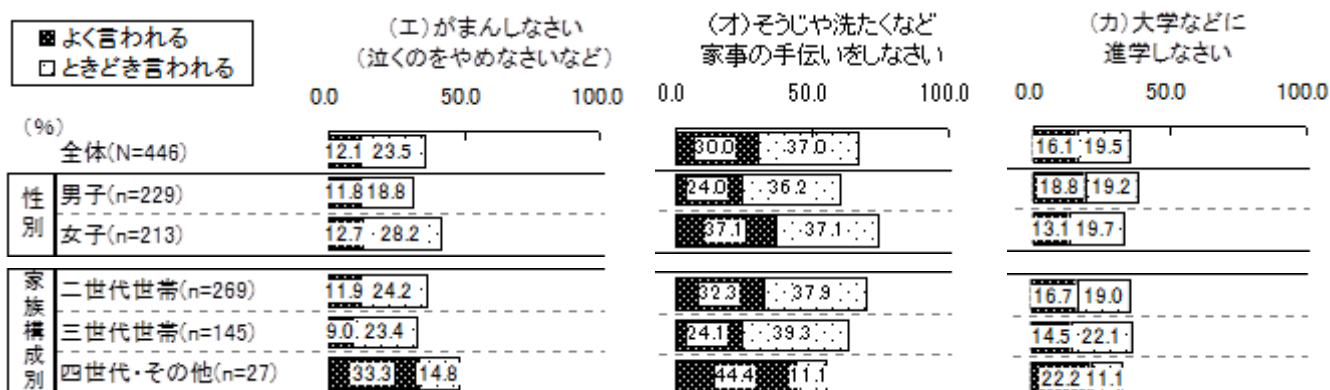
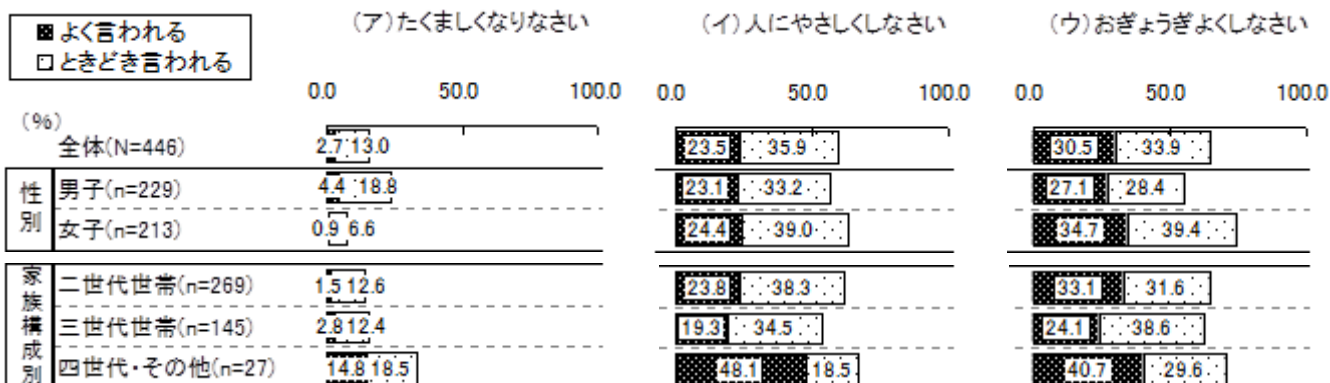
1. まわりの人から言われることについて

問1. あなたは、父親や母親、祖父母など家族やまわりの人から、次の(ア)～(カ)のようなことを言われますか。それぞれ1～4の中から、1つずつ選び○をつけてください。

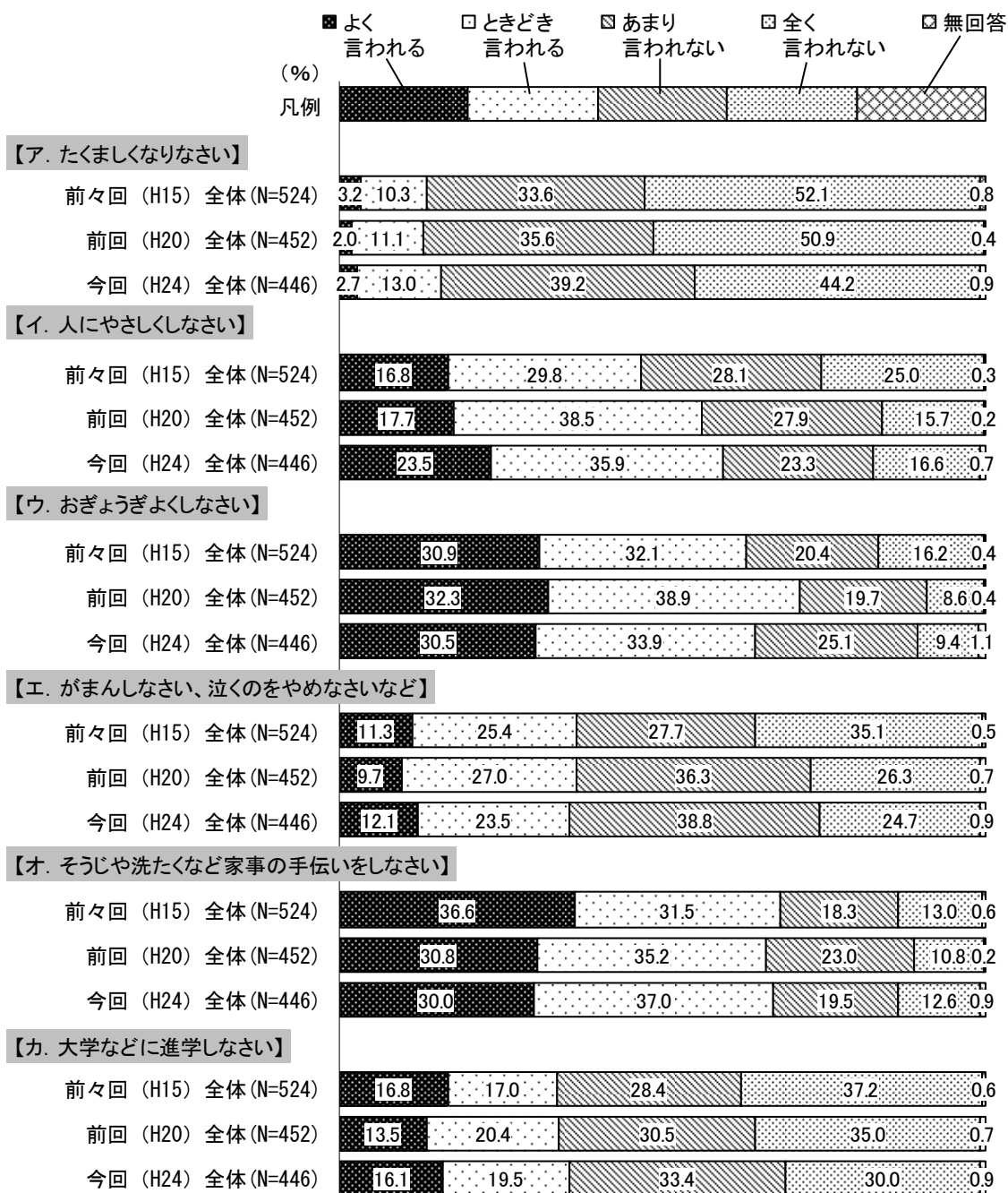
「よく言われる」の回答割合についてみると、高い順に「(ウ) おぎょうぎよくしなさい」(30.5%)、「(オ) そうじや洗たくなど家事の手伝いをしなさい」(30.0%)、「(イ) 人にやさしくしなさい」(23.5%) となっている。一方、「あまり言われたい」と「全く言われたい」を合計した『言われたい』割合では、高い順に「(ア) たくましくなりなさい」(83.4%)、「(エ) がまんしなさい (泣くのをやめなさいなど)」(63.5%)、「(カ) 大学などに進学しなさい」(63.4%) などがあげられる。



「よく言われる」の回答割合について属性別でみると、特に女子で「(ウ) おぎょうぎよくしなさい」や「(オ) そうじや洗たくなど家事の手伝いをしなさい」の割合が高い。また、家族構成別の四世代・その他において「(イ) 人にやさしくしなさい」「(エ) がまんしなさい (泣くのをやめなさいなど)」「(オ) そうじや洗たくなど家事の手伝いをしなさい」などが、他の属性に比べ高くなっている。



【参考／時系列推移】



注 1:「エ」→H15 年では「泣くのをやめなさいなど」はない

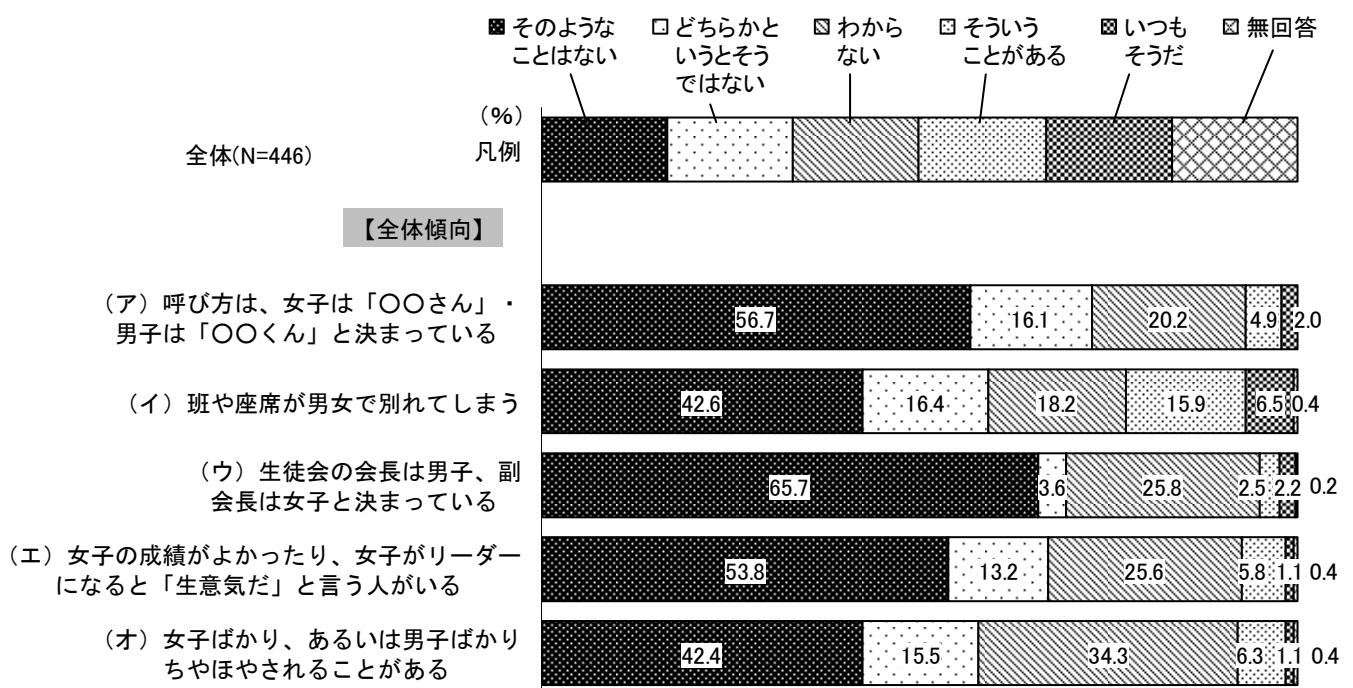
注 2:「オ」→H15 年では「家事の手伝いをしなさい」のみ

2. 男女間の行動等の違いについて

問2. あなたの学校で、次の(ア)～(オ)のようなことはありますか。それぞれ1～5の中から、1つずつ選び○をつけてください。

男女間の行動等について「いつもそうだ」あるいは「そういうことがある」への回答は「(イ) 班や座席が男女で別れてしまう」で比較的高い割合となっている。

「そのようなことはない」割合を高い順にみると、「(ウ) 生徒会の会長は男子、副会長は女子と決まっている」(65.7%)、「(ア) 呼び方は、女子は「〇〇さん」・男子は「〇〇くん」と決まっている」(56.7%)、「(エ) 女子の成績がよかったり、女子がリーダーになると「生意気だ」と言う人がいる」(53.8%)となっている。

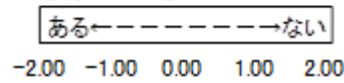


加重平均値^注による属性別傾向をみると、性別や家族構成による大きな差は目立たない。

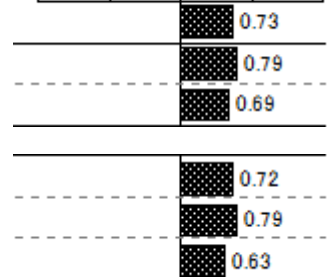
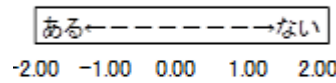
◆注:加重平均値による属性別傾向◆

加重平均値とは、「いつもそうだ」に－2点、「そういうことがある」に－1点、「わからない」に0点、「どちらかというそうではない」に＋1点、「そのようなことはない」に＋2点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、＋2点に近いほど「(そのようなことが)ある」、－2点に近いほど「(そのようなことはない)」を示す指標である。

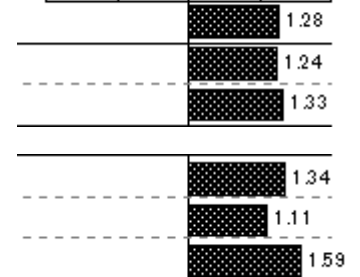
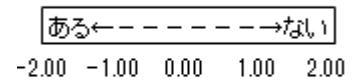
(ア)呼び方は、女子は「○○さん」、男子は「○○くん」と決まっている



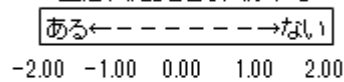
(イ)班や座席が男女で別れてしまう



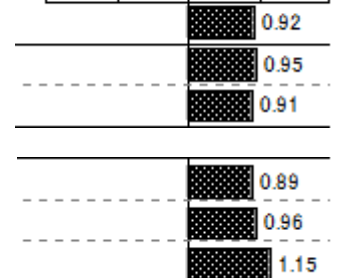
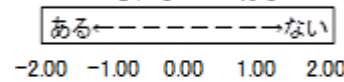
(ウ)生徒会の会長は男子、副会長は女子と決まっている



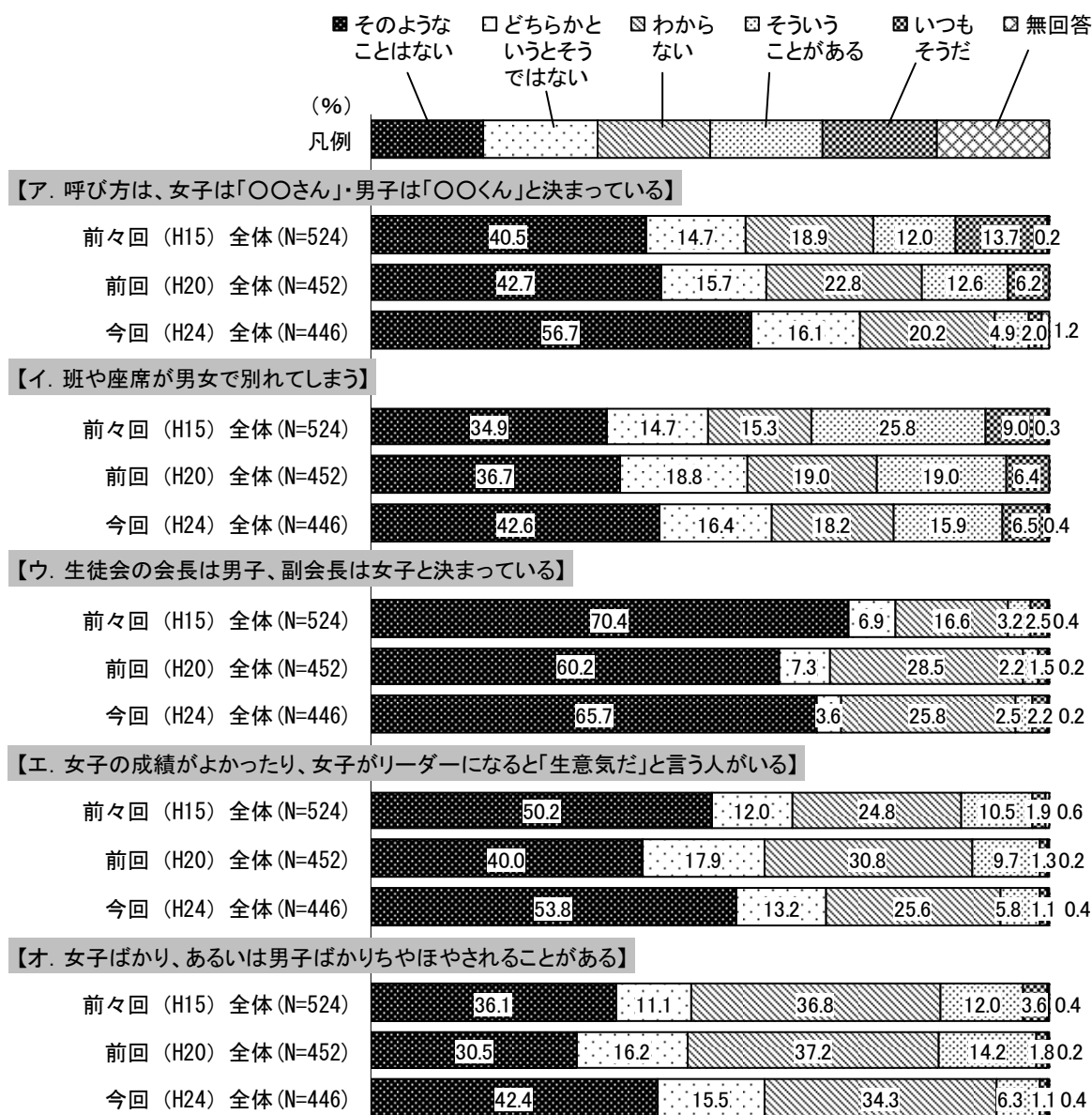
(エ)女子の成績がよかったり、女子がリーダーになると「生意気だ」と言う人がいる



(オ)女子ばかり、あるいは男子ばかりちやほやされることがある



【参考／時系列推移】

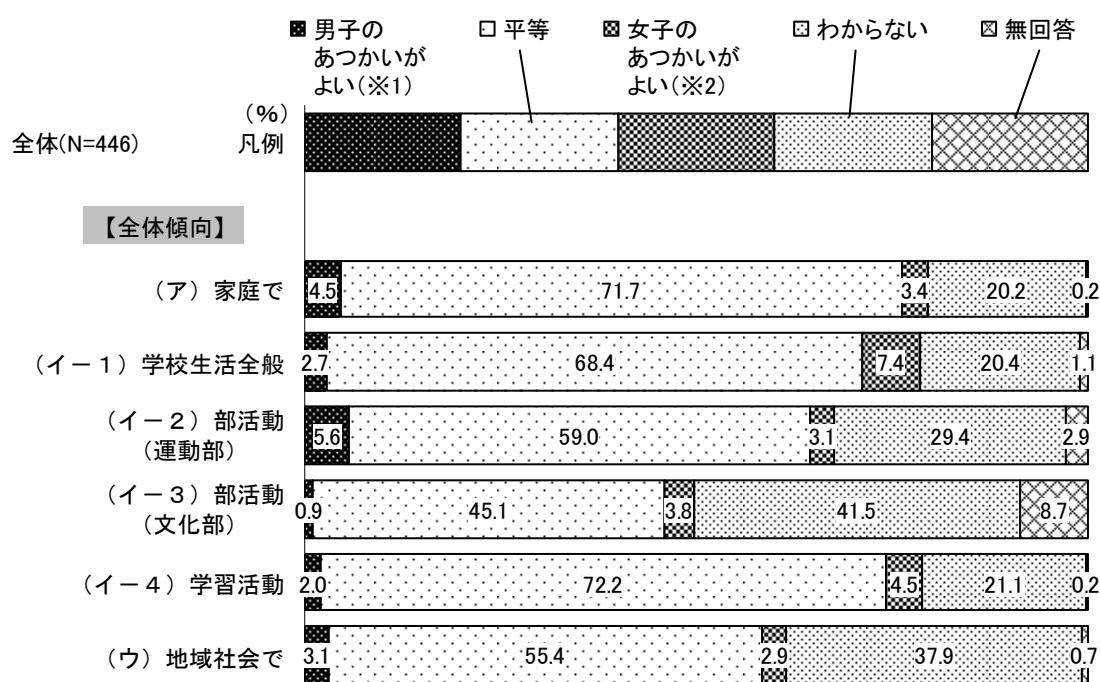


注:「エ」→H15年では「女子を生意気だ」という人がいる

3. 男女のあつかいについて

問3. あなたは、次の(ア)～(ウ)の場面について、男女は平等になっていると思いますか。それぞれについて1～4の中から、1つずつ選び○をつけてください。

男女のあつかいについては、全ての項目において「平等」の割合が最も高くなっているが、「男性（男子）の待ぐう（あつかい）がよい」は「(ア) 家庭で」で4.5%、「(イー2) 部活動（運動部）」で5.6%みられた。「女性（女子）の待ぐう（あつかい）がよい」については「(イー1) 学校生活全般」で7.4%となっている。



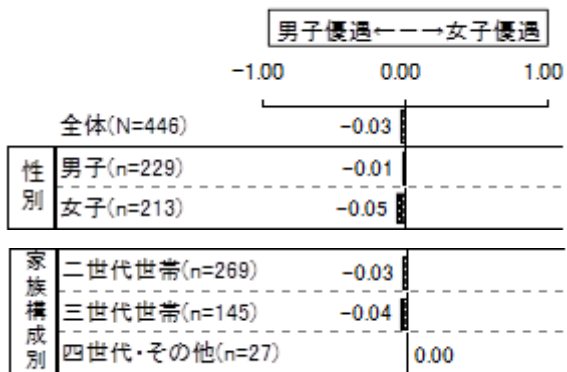
※1 男性(男子)の待ぐう(あつかい)がよい
 ※2 女性(女子)の待ぐう(あつかい)がよい

加重平均値^注による属性別傾向をみると、男子に比べ女子において「(イー3) 部活動（文化部）」で女子優遇意識が高い。家族構成では四世代・その他の世帯において「(イー2) 部活動（運動部）」「(ウ) 地域社会で」などで男子優遇意識が他の層に比べ高くなっている。

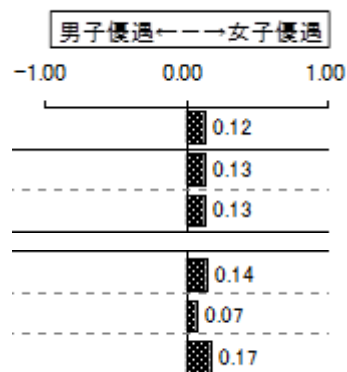
◆注:加重平均値による属性別傾向◆

加重平均値とは、「男性(男子)の待ぐう(あつかい)がよい」に-2点、「平等」に0点、「女性(女子)の待ぐう(あつかい)がよい」に+2点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、-2点に近いほど「男子優遇」、+2点に近いほど「女子優遇」を示す指標である。また、この数値はあくまでも「統計上の指標」であり、マイナス、プラスによって男女の優劣を判定するものではない。

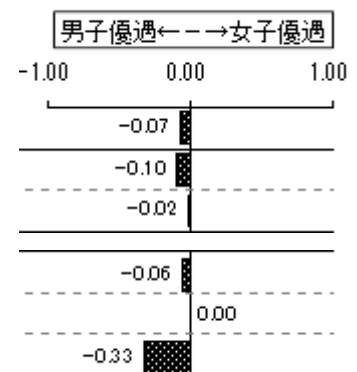
(ア) 家庭で



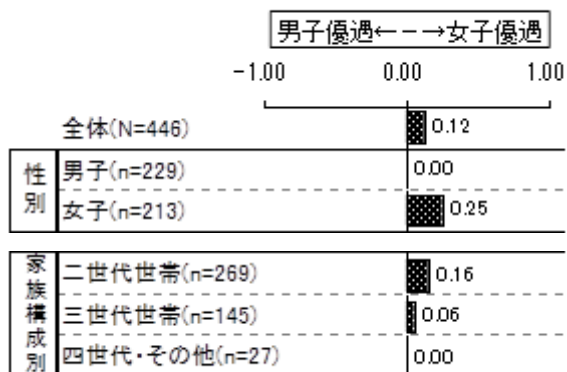
(イ-1) 学校生活全般



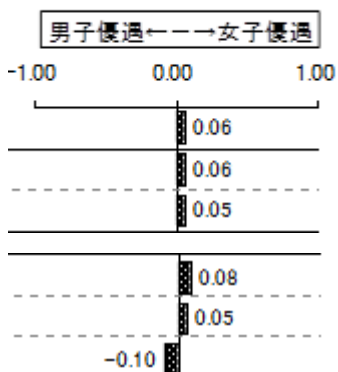
(イ-2) 部活動(運動部)



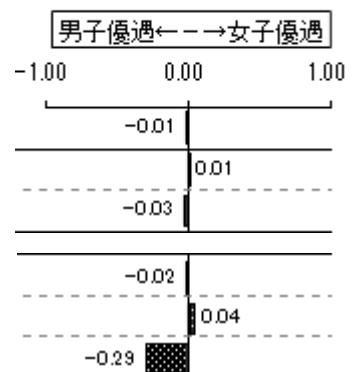
(イ-3) 部活動(文化部)



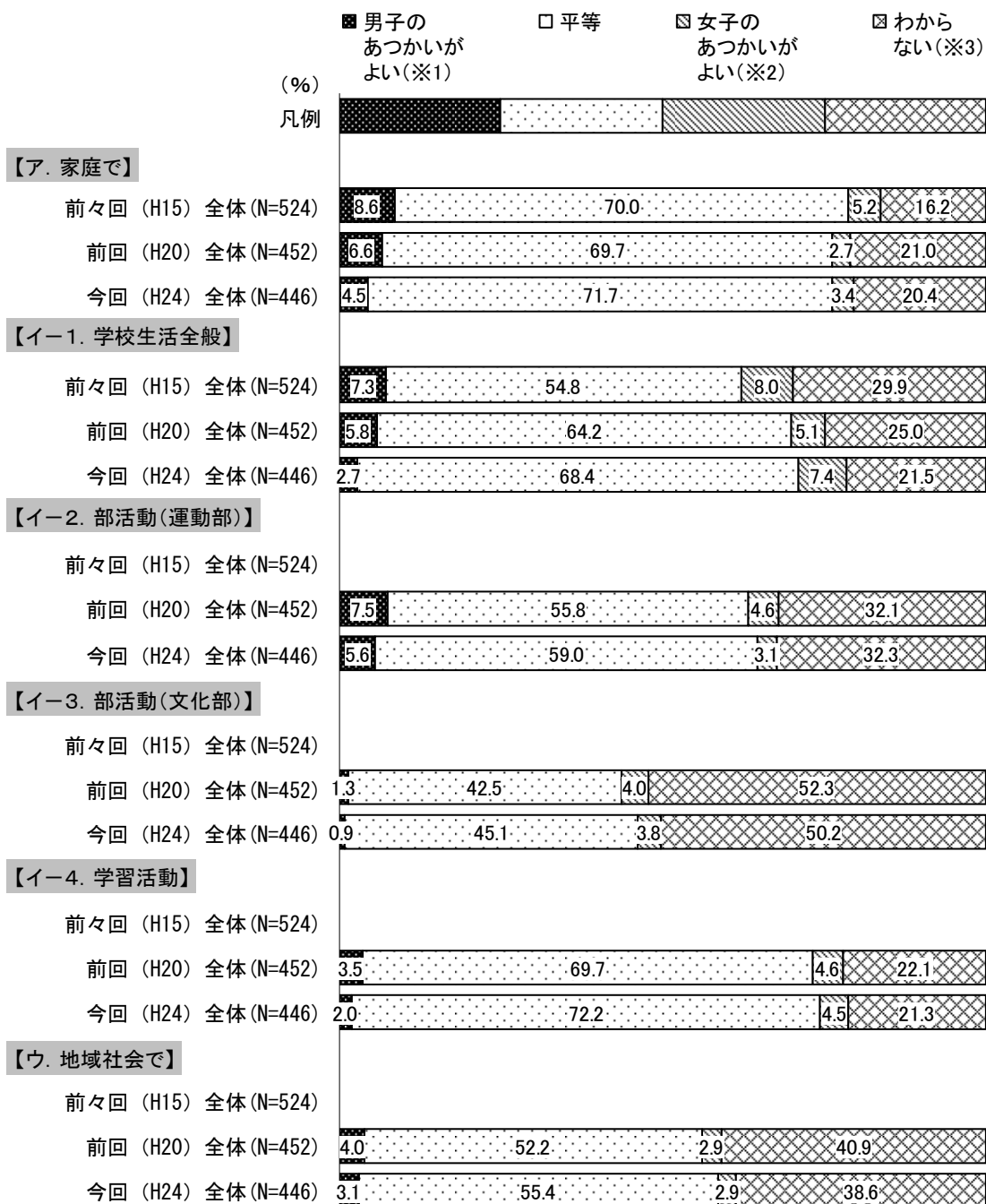
(イ-4) 学習活動



(ウ) 地域社会で



【参考／時系列推移】



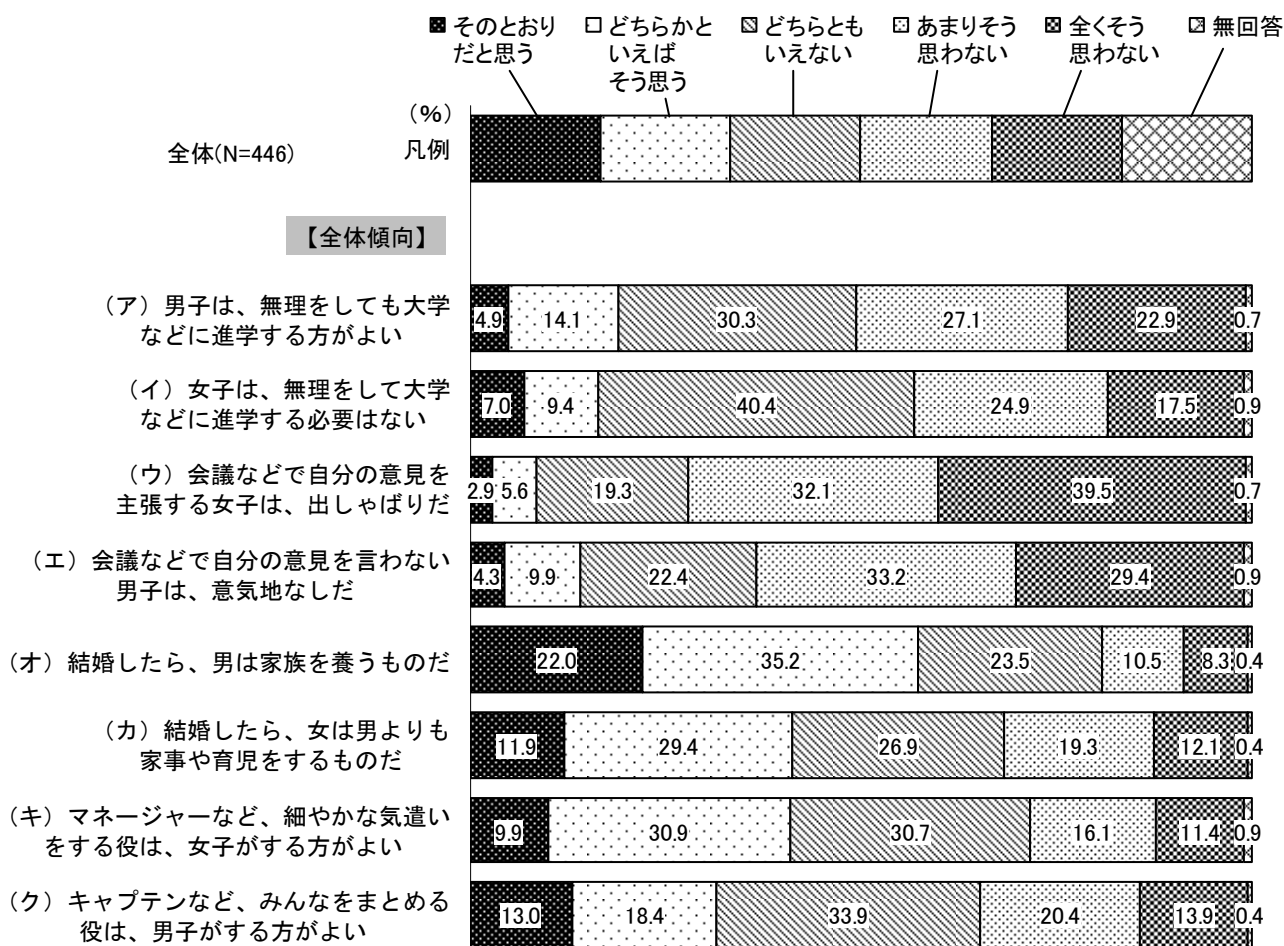
注: H15年には「イー2」以降の設問無し
 ※1 男性(男子)の待ぐう(あつかい)がよい
 ※2 女性(女子)の待ぐう(あつかい)がよい
 ※3 「無回答」を含む

4. 日常生活における男女平等意識について

問4. あなたは、次の(ア)～(ク)について、どのように考えますか。それぞれ1～5の中から、1つずつ選び○をつけてください。

日常生活における男女平等意識について、「そのとおりだと思う」への回答割合についてみると、高い順に「(オ) 結婚したら、男は家族を養うものだ」(22.0%)、「(ク) キャプテンなど、みんなをまとめる役は、男子がする方がよい」(13.0%)、「(カ) 結婚したら、女は男よりも家事や育児をするものだ」(11.9%)となっている。

逆に「全くそう思わない」という否定的見解については、高い順に「(ウ) 会議などで自分の意見を主張する女子は、出しゃばりだ」(39.5%)、「(エ) 会議などで自分の意見を言わない男子は、意気地なしだ」(29.4%)、「(ア) 男子は、無理をしても大学などに進学する方がよい」(22.9%)、「(イ) 女子は、無理をして大学などに進学する必要はない」(17.5%)などがあげられる。

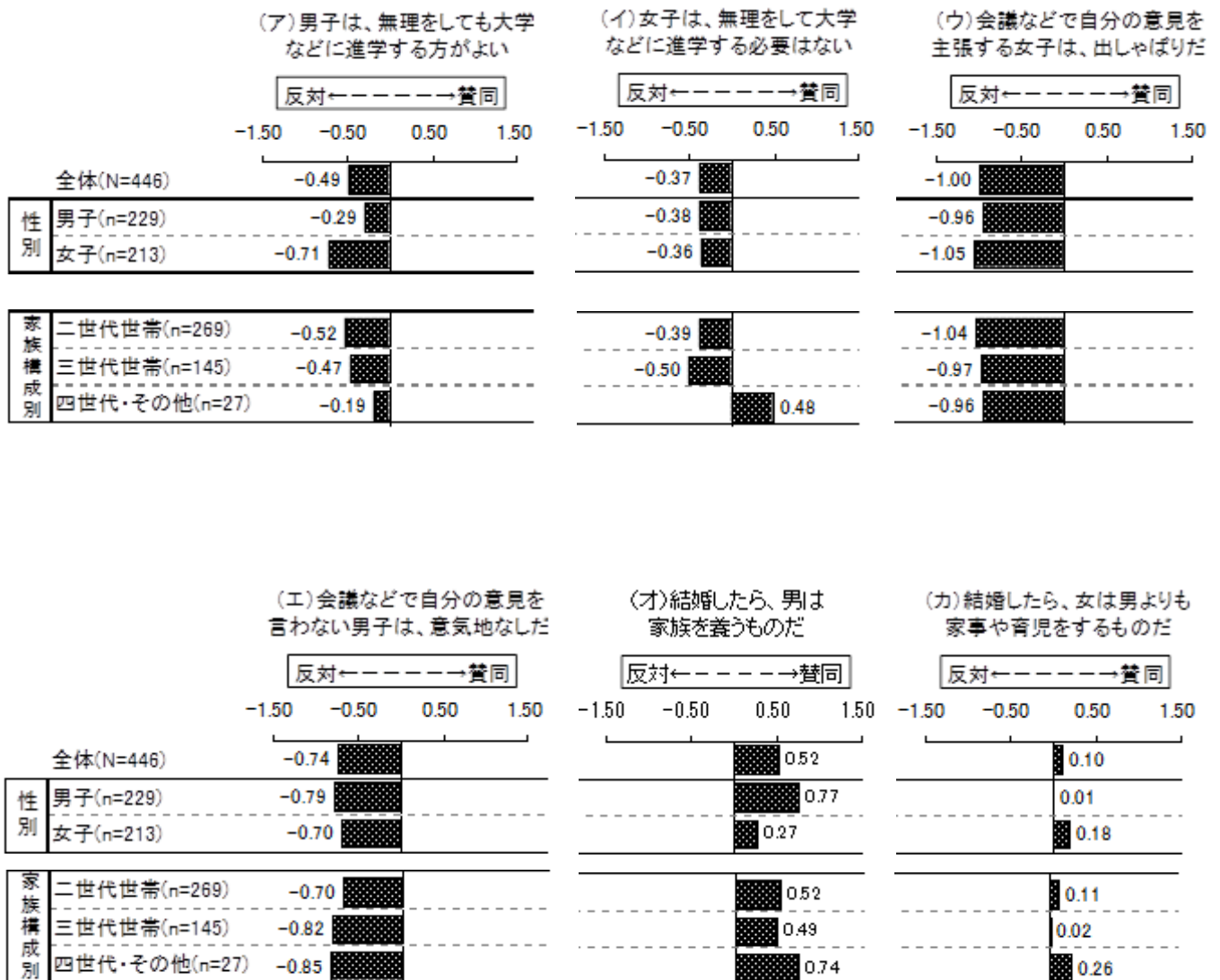


加重平均値^注による属性別傾向をみると、性別では、男子の場合女子に比べ「(オ) 結婚したら、男は家族を養うものだ」に賛同意識が高く、女子は「(ア) 男子は、無理をしても大学などに進学する方がよい」「(ク) キャプテンなど、みんなをまとめる役は、男子がする方がよい」で反対意識が高い。

家族構成別では、四世代・その他の世帯で「(イ) 女子は、無理をして大学などに進学する必要はない」の賛同意識が高くなっている。

◆注:加重平均値による属性別傾向◆

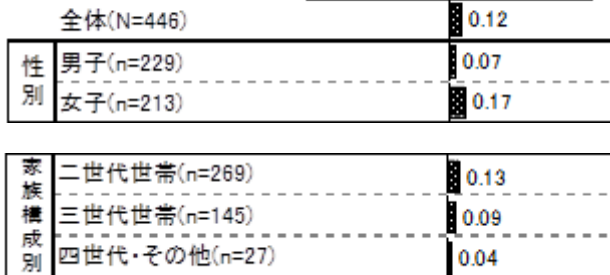
加重平均値とは、「全くそう思わない」に-2点、「あまりそう思わない」に-1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかといえばそう思う」に+1点、「そのとおりだと思う」に+2点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、-2点に近いほど反対、+2点に近いほど賛同を示す指標である。



(キ) マネージャーなど、
細やかな気遣いをする
役は、女子がする方がよい

反対 ←-----→ 賛同

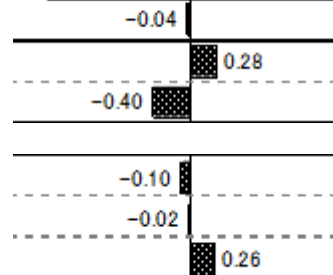
-1.50 -0.50 0.50 1.50



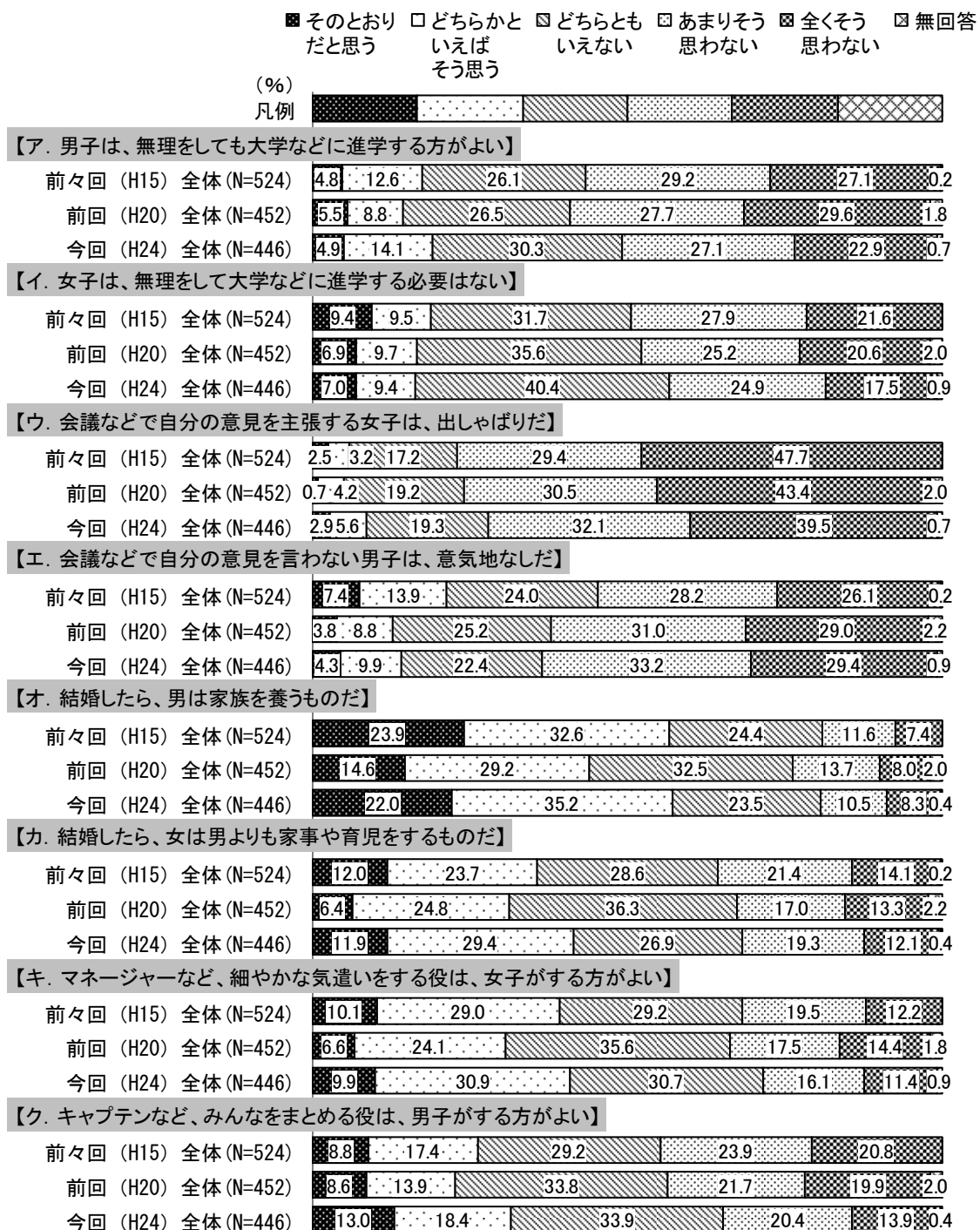
(ク) キャプテンなど、みんな
をまとめる役は、
男子がする方がよい

反対 ←-----→ 賛同

-1.50 -0.50 0.50 1.50



【参考／時系列推移】



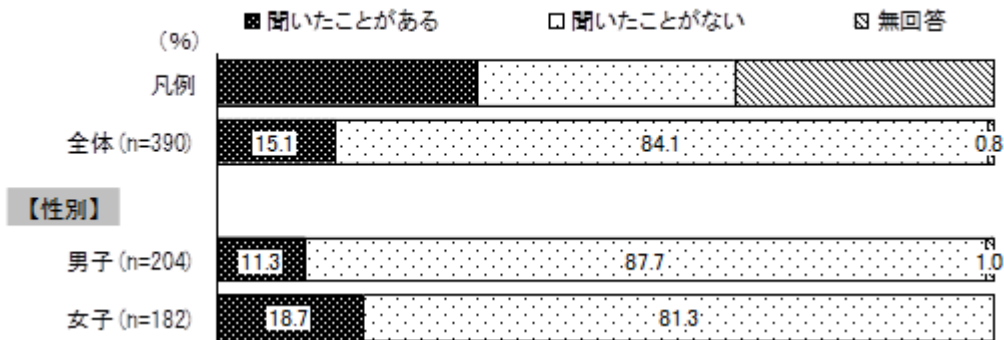
注1:「イ」→H15年では「無理をしてまで」
 注2:「ウ」「エ」→H15年では「会議などで」の前置き無し
 注3:「キ」→H15年では「細やかな」は無し

【2】DVについて

1. デートDVの認知状況

問5. 夫婦(離婚した夫婦も含む)や一緒に暮らしているパートナーどうしの中で起こる体、言葉、態度による暴力のことを「DV(ドメスティック・バイオレンス)」といいます。一方、一緒に暮らしていない恋人同士の間で起こる暴力のことを「デートDV」といい、どちらも大きな問題になっています。あなたはこの「デートDV」という言葉を聞いたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

デートDVの認知状況については、15.1%が「聞いたことがある」と回答している。性別では、「聞いたことがある」割合は、男子の11.3%に対して、女子は18.7%と高くなっている。

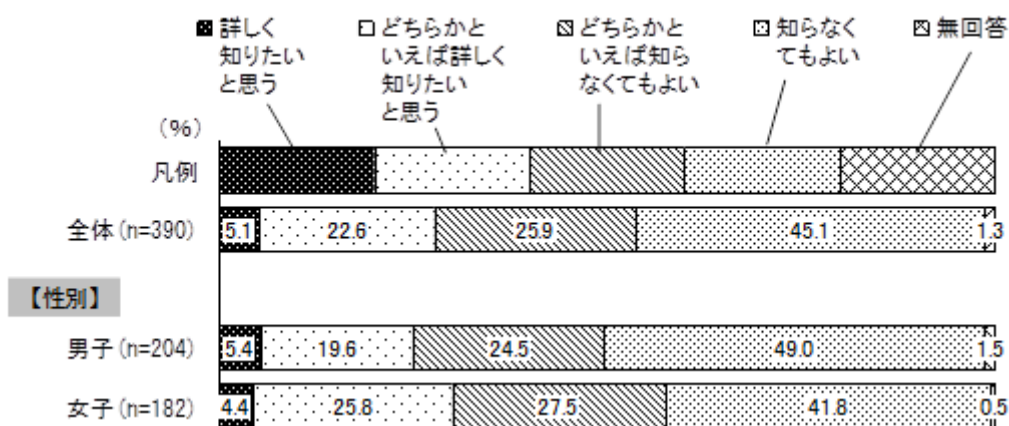


2. デートDVについて

問6. あなたは、「デートDV」について詳しく知りたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

デートDVについて、「詳しく知りたいと思う」の割合が 5.1%、「どちらかといえば詳しく知りたいと思う」が 22.6%で、合計 27.7%が『知りたいと思う』という意向を示している。一方、「どちらかといえば知らなくてもよい」は 25.9%、「知らなくてもよい」は 45.1%で、合計 71.0%となっており、『知りたいと思う（合計）』を上回る。

性別では女子で『知りたいと思う（合計）』割合が男子を上回っている。



【3】男女平等社会をつくる上で必要と思うこと

1. 自由記述回答集約結果

問7. 男女平等社会をつくる上で現状を変えたとしたら、何が必要だと思いますか。今までにあなたが、困ったり悩んだりしたことを手がかりにして書いてください。また、将来のことなどについて意見があれば自由に書いてください。(秘密は守ります。)

男女平等社会をつくる上で必要と思うことを自由記述方式（フリーアンサー）で尋ねたところ、以下のような意見がみられた。(内容要約)

【社会】

- ・男女は同じ人間。性差をつける必要はない。
- ・男が女より立場が上だという考え方をなくしてほしい。
- ・「男だから、女だから」とかいう考えを持たずに、男女が平等であるために両方がそれぞれできることを考えて、男女平等社会をつくっていったらよいと思う。
- ・男も女も平等に発言、行動できる環境づくり。
- ・時々「男子なのにそんなこともできないの」と言われることがある。そのようなことがなくなるように、男女関係なく仕事や活動ができるよう、社会のハードルを調節する。
- ・今の段階で平等だと思う。
- ・政府が少し問題を話し合ったらよいと思う。
- ・法律の整備が必要。
- ・自分の考え、意見を持つのは大切だが、人に押し付けるのはいけない。1人1人がお互い認め合うことが大事。
- ・男女の接し方や考え方を、お互いが理解することだと思う。
- ・国会議員は男が多い。先生や校長先生も男性が多い。医者は男性ばかりだ。
- ・アルバイトの採用で、採用幅を「男だけ」から性別不問にすればまちも活性化するのでは。
- ・男子校、女子高をなくしてほしい。
- ・女子のスポーツが少ない。

【学校・家庭生活】

- ・家事や育児、仕事を、夫婦平等でやればよいと思う。
- ・男女問わず、なんでもやればよい。
- ・男子は力仕事をしろ、女子は家事を多くしろなど、性別で仕事をわけないでほしい。
- ・女子はあまり怒られない。
- ・男子が体育でやっていることを女子がやらない。
- ・絵を描いたとき、「女だからうまい」と言われたが、それは努力したからで性別は関係ない。ささいなことだが、言われた側にとっては傷つく人も出てくると思う。
- ・生徒会長が女だと不安という考え方は、止めた方がよい。
- ・啓発イベントをもっとしてほしい。

【慣習】

- ・新しい家ができて餅投げをする時、女の人を家の上に上がらせてもらえない。
- ・地域のしきたりなどで、女の子ができないことがあるので、それを止めればよいと思う。女子に対する昔からの「けがれ意識」は止めてほしい。
- ・昔の男女差別はもう捨てる。現在は現在。
- ・いろいろな行事に、男女関係なく参加できるようにしたい。